

# まいど

## 京都商工会議所青年部 会報

Young Entrepreneurs Group of the Kyoto Chamber of Commerce and Industry



### プロフィール

ただ ひろし  
**武田 浩**

(財)京都市少年教育振興会理事長  
京都市立南山城少年自然の家所長

昭和7年、京都生まれ。奈良学芸大学（現 奈良教育大学）卒、公立学校教員、京都府教育委員会学校教育課長、指導部長、理事、教育次長を歴任。祖父、父、本人と三代に亘る、教員一家。美術には造詣が深く自作の彫刻作品が応接間に並ぶ。

植物を育てたり、野菜をつくるのが好きという、温かみのある気取らない人柄です。

### <人づくりの大切さは、全体が育つこと>

自然の中で子供達は新しい発見をします。鳥が魚を捕ること、キノコの森の中での役割など、あらゆる自然の営みを観察して何かを発想します。ある子供は、生存競争の激しさ・すごさを体験することにより、生きることを学び、またある子供は、自然界の相互依存を学びます。

このようにして、子供達は、学校教育で学んだことを、自然の中で活かしながら感性をみがいていきます。そうしたときに、子供達をどの方向に向かって教育していくか、ということが大切です。それと同時に、個人々々の感性を引き出しながら全体が育っていくように導くこと、これが私たちの役目です。

### <自然と文化都市 京都>

子供達は自然の中で活動し、自然の不思議さや、豊かさに気付くことによって、環境を大切に生きる方を養っていきます。

私たちの自然教室に参加して、「自然のこともあまり知らなかったし、自然破壊などあまり考えたこともなかったけれど、いろいろな話を聞いて自然がいろいろなことをして、今の地球を守ってくれているんだということを知って、自然破壊のことをもっと考えていかなければならないと思った。」と言う子供達が育ってきています。

ところが昨今、ややもすると人間中心となりみんなのものがダメになってきています。これからはそのことを考えていかなければなりません。大自然の中に人間がいる、そして自然と共生しているということを認識すべきでしょう。

最後に、これまで京都は文化都市と呼ばれてきたわけですが、それは京都がうまく自然を取り入れてきた所以だと思います。

## CONTENTS

“人づくり・京づくり”	1
通常会員総会	2
委員会だより	2
お茶壺道中報告記	3
ネットワークひろば	4
青年部事業予定	4
新入会員の紹介	4
編集後記	4